

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政に対する格別なご理解とご協力に深くお礼申し上げます。

さて、昨年のわが国は、師走に突然の衆議院解散総選挙が舞い込んだことに象徴されるように、あわただしい一年となりました。第2次安倍政権が進める、経済政策「アベノミクス」は、株価上昇などをもたらしましたが、それに伴い、円安が一気に加速し、消費者物価が上昇しております。さらに、4月からは、消費税が5%から8%に引き上げられ、各家庭においては、これまで以上に苦しい状況が続いております。

また、昨年自然災害による甚大な被害が発生しました。8月20日、広島県広島市の安佐南区・北区では、台風による大雨の影響で土砂崩れが発生し、74名が犠牲となりました。また、9月27日には、長野県と岐阜県の県境に位置する御嶽山が噴火し、5名が犠牲となり、いまだに6名が行方不明となっております。

そんな中、明るい話題としては、2月にロシアで開催されたソチオリンピックのフィギュアスケート男子シングルで羽生結弦選手が金メダルを獲得。また、9月に開催されたテニスの全米オープンでは、錦織圭選手が日本人選手初なる4大大会決勝に臨み、優勝こそ逃しましたが準優勝するなど、若き日本選手の活躍には目を見張るものがありました。また、青色発光ダイオード（LED）の実現に関する業績が認められ、日本人研究者3名が、ノーベル物理学賞を受賞しました。

当町においては、産業分野では、基幹作物であるピーマンが昭和55年の栽培開始から35年目にして初めて、販売額5億円を突破しました。また、黒毛和牛の素牛販売・肥育牛販売も一昨年に引き続き好調を維持しており、水産業については、コンブ漁が天候にも恵まれ好調な結果となりました。

競馬界においては、町内の牧場で生産された競走馬がG1レースなどで大活躍しました。また、スポーツの分野では、10月に長崎県で開催された長崎がんばらんば国体2014少年団体馬術競技において、北海道代表として出場した町内在住の3選手が見事優勝しました。このように、様々な分野で町民の皆さまが目覚ましい活躍をされたことは大変に喜ばしいことであり、新冠の誇りであります。

本年におきましても、多くの課題が山積する中で難しいかじ取りを迫られることと思いますが、決してあきらめることなく、町民の皆さまと手を携え、課題を克服していきたいと考えております。

この町で大切に育まれてきた「人と人との絆」「助け合い」「地域を愛する心」を次世代へ繋いでいくため、個性豊かで魅力あるキラリと光るまちを目指し、職員一丸となり全力で取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆さまにとって、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、ますますのご発展をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

